

2024年度 第1回地域連携推進会議 議事録

事業所名	高知ハビリテリングセンター	はるのハビリホーム
サービス種別	障害者支援施設	共同生活援助
所在地	高知市春野町内ノ谷63-6	
開催日時	2024年11月18日(月) 13:00~15:30	
開催場所	はるのハビリホーム2階会議室	
出席者 (計14名)	高知ハビリテリングセンター入所者 1名 はるのハビリホーム入居者 1名 高知ハビリテリングセンター入所者家族 1名 はるのハビリホーム入居者家族 1名 地域の関係者 1名 福祉に知見のある人 1名 経営に知見のある人 1名 高知市障がい福祉課職員 1名 高知ハビリテリングセンター職員 1名 はるのハビリホーム職員 1名 管理者(センター長・副センター長・部長) 4名	
議題内容	(1) 地域連携推進会議の目的 (2) 出席者紹介 (3) 利用者2名より当センターでの生活について説明 (4) 施設見学(2グループに分かれてラウンド) (施設入所/生活介護/自立訓練/就労継続支援B型/就労移行/はるのハビリホーム) 全事業の見学 (5) 施設運営状況に関する説明 2023年度事業報告をもとに説明 <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策委員会の取り組み ・災害対策委員会の取り組み(BCP策定状況含) ・虐待防止委員会の取り組み ・身体拘束適正化委員会の取り組み ・ご意見と苦情に関する報告(第三者委員への相談内容含) ・教育委員会の取り組み ・地域交流委員会の取り組み ・栄養委員会の取り組み(2023年度食事アンケート結果) ・ふくらーむ委員会の取り組み(ふくらーむ配布) ・事故報告 ・経営状況報告(2023年度決算書にて報告) (6) 利用者アンケート結果報告 アンケート期間:2024年11月4日~11月11日 回収率(施設入所81.1% はるのハビリホーム74.2%) ※アンケート結果は資料として配布	

【質問 1】

新しく職員さんを採用されたりされる際の資格者の割合や、入職後の教育体制・定着率について聞きたい。

⇒介護福祉の業界は人材不足で、応募はありますが非常に少ない現状です。提供しているサービス事業については資格要件が決められているものもありますが、グループホームに関しては資格要件がありません。入職者の特長（長所）を活かす部署への配置を行うために約1カ月半の研修を実施しています。配属部署決定後も本人およびその他の状況を含めて法人全体での異動も実施し、全体のバランスをとっています。離職率に関しては、最近2年は低下しています。

⇒障害者支援施設では、専門職（理学療法士もしくは作業療法士）の配置が必要ですが当事業所では手厚く配置しています。そのような状況もあり、人件費率は70%を超えています。配置の意図は「初期評価が出来る職員を育てたい」という想いです。利用者への支援はもちろん、他の職員と一緒に支援の質を考えていく軸を担ってもらっています。支援対象者の特徴をつかみながら支援するために欠かせない障害理解がまだまだ未熟ではありますので、利用者ひとりひとりに対して一緒に向き合うことを専門職中心に行っております。

⇒今年度の教育目標を「3つの学び」とし、各事業で「自分たちが学びたい」「苦手だな」などテーマを3つ考え、テーマに対して外部講師の協力を得ながら取り組みました。更に支援の検討が必要な時はすぐカンファレンスを行い、必要な際は外部の専門家を招いてスーパーバイズを受けています。

【質問 2】

すごく印象的なのが、どこも隅々まできれいに掃除も行き届いており清潔感を感じました。またトイレのほうもおいをいっさい感じることなく日頃からの清掃が行き届いている成果なのかなと思いました。質問は、トイレの中に荷物を置く場所や杖を掛ける場所がなかったのですが、何らかの理由があつてのことでしょうか？

⇒トイレの物置やトイレフックは特に理由があつて設置していないわけではありません。様々なハンディキャップに合わせて必要な備品としては都度設置しています。トイレ杖ホルダーはトイレ以外も含め設置するようにします。

介護保険サービスが65歳からになります、在宅で障害福祉サービスの支援を受けられている方が介護保険サービスに変わったとたん、なかなか今まで受けれたサービスが受けられなくなり、不平・不満・苦情というところに繋がる主な原因になっております。ハビリのほうで注意してる点とか、ご苦労されてる点とか、成功事例失敗事例あれば聞かせて頂きたい。

⇒65歳で利用するサービス制度が変更する点のご利用者さんがこの先生活がどうなっていくのかいざばん不安を感じられる点です。その時急に今後の生活を考えると焦ってしまうので、当事業所では63歳になった段階から半年、長い方は1年半かけて次の生活に対するご本人のイメージの共有をサービス管理責任者中心に実施し、時間をかけて

<推進委員より>
見学の感想と質問

準備をしていく事を大切に支援させて頂いています。

⇒成功例失敗例ではないですが、当事業所の入所を長期利用しての方が介護保険サービスへ移行するタイミングで「家に帰りたい」と強く希望されました。ただ、その方の自宅は生活できる環境ではなかったため、ご家族の協力も得て試験外出までチャレンジしました。結果、排泄の介助場面において施設ではコールを鳴らすと常に職員がサポートしてもらえるが、単身生活ではヘルパーさんが来てくれるとは言え現在とは異なる点をご本人さんが痛感され、最後は「高齢者施設で安定した老後を迎えたい」という自己決定された例がありました。希望する自宅生活につながれば良かったと思いますが、ご本人が【しっかり自分の今後の事を考えて】、試行錯誤を支援者と共にしながら自己決定できた点が、成功だったと捉えていますし、今後の支援においてもそのようなプロセスが踏めるように準備しております。

【感想】

これまでアセスメント等、入所、機能訓練、生活訓練でも生徒がお世話になっています。見学の中身もそうですけど、専門職のサポートを手厚くして頂いています。生徒は2泊3日～2週間という期間で数回体験させてもらい、その都度評価会を頂いて、各部門の担当者からアドバイスを頂いています。

教員の目以外の情報は直接こちらでお世話にならない生徒にとっても「残りの学生生活をどう過ごすか」という点にとって良い振り返りにもなっています。地域の事業という立場で言っただけというのは本当にとってもありがたく、良いお付き合いをさせてもらっているなど思っています。実際学生が体験させて頂いている場面を拝見していても、通過型と言われるように、次のステージを見据えた支援が提供されていて「先を見る」という点で勉強させて頂いています。

【感想】

話のあったクレーム対応を聞いていると極めて微妙な内容だと感じました。そういうことを誠実に取り組まれていて、本日のような会はそういうことを隠せない会なので、小さい事ではあるが、しっかり報告されていてすごくしっかりしてると思いました。

【感想】

本日改めて見学させて頂いて、やっとわかりました。子どもが小さい時に色々な話を聞いてもほんとにわからなくて…。本日しっかり事業内容を見て、全部繋がってきました。本日のこのような会が出来たことが凄くうれしくて、今一生懸命悩んでいる親御さんにたちにも知っていただきたいなと思いました。息子がお世話になっていた学校職員さんがこうしてお越しくださっていることでまた学校と繋がれたことや、うまく連携ができ始めていることを聞いてすごくうれしいです。

ハビリは障害者スポーツセンターに隣接している立地なので、スポーツをする機会を増やしてもらえたらと思います。スポーツはすごく色々な人と関われるし、意外にできないと思ったものが結構できたりもします。そうしたら一般の人と関わる機会も増え、大人になって色々な所に行っても友人が増えてきたりなどするので、そういう機会も増やして頂けたらいいかなと思います。

息子からハビリに対するクレームなどの話を聞いてたら、ちょっと辛い時もあります。自

分も福祉のところで5, 6年働いてたんで福祉の大変さを分かってるんで、だからやっぱ感謝してありがとうございます。何か失敗して助けてもらったら感謝だけはちゃんといいなさいと言ってます。少々辛いと言っかけてきても、それくらいの事やったら気にしたらいかんという感じで言ったりしたりしながら今に至っています。今はとても元気に楽しく過ごしているので、ひとつよろしくお願いします。

【質問3】

虐待防止委員会や身体拘束の委員会などを定期的実施されてるかと思うんですけども、その中で、苦勞してる点とかこどうしたらいいんだろうとか、そういったことをお聞かせいただきたいと思います。

⇒身体的虐待のように叩いたら絶対ダメというのは全職員理解していますが、今回虐待認定を受けた事案で、利用者さんのことを心配して言った言葉が仇となると、支援者が何も言えなくなります。結果、信頼関係が築けず支援ができなくなる事になりハビリでの支援を終了することになりました。また、身体拘束に関しても、家族から、借金作るから絶対誰も会わせないでほしいと通信制限・面会制限をお願いされたりすることがあります。ご家族の立場に立つと何かしらの協力はしたいと思いますが、ご本人の意思決定を無くして制限はかけられないので、こういった判断が難しい事例に苦勞しています。判断に困った時は、必ず障害福祉課に相談するようにしています。

【利用者要望】

入浴をするときに車椅子のまま入ることができる風呂桶ができるといいかなど。湯船に一時浸かる事はありましたが、そこから上がる時に左足がちょうど内側に向きかけて、もうそれで捻挫をしそうになりかけたことがありました。

⇒他の事業所では全身浴という形で、車椅子に乗ったまま全身を洗う機械を設置しているところもあります。お風呂に浸かりたいという希望をどこまでかなえることができるか現時点でお答えすることは難しいですが、検討議案として部署で協議していきます。

【利用者感想】

私が、休みの日の朝は、ウォーキング行ってます。春野町の人で会う人がいるんです。その人に、おはようございますと軽くご挨拶したら、おはようございますって会釈してくれます。また、ランニングしている人達がいるんですが、その人達も会う度におはようございますって元気に声を返してくれて、うんと楽しいです。その度にみんなの顔を覚えて、今日も走ってるな！がんばれがんばれ！と思ってウォーキングしています。うんと嬉しいです。

地域連携推進会議 当日アンケート結果

参加者数	8名
アンケート回収数	8名

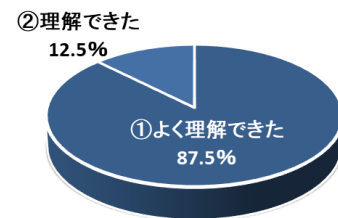
1. 利用者が当センターでどのような生活を送っているか理解できましたか？

①よく理解できた	8名
②理解できた	0名
③あまり理解できなかった	0名
④全く理解できなかった	0名
⑤無回答	0名



2. どのような障害をもっている方が利用しているか理解できましたか？

①よく理解できた	7名
②理解できた	1名
③あまり理解できなかった	0名
④全く理解できなかった	0名
⑤無回答	0名



<推進委員>
アンケート結果

3. 施設入所やグループホームの役割や支援の内容が理解できましたか？

①よく理解できた	8名
②理解できた	0名
③あまり理解できなかった	0名
④全く理解できなかった	0名
⑤無回答	0名



4. 職員の態度や働きについて、気付いたことがありましたらご記入ください

- ・皆さんねっしんに働いてる
- ・職員の数かなり少ないと感じた。とても苦労されていると思う。
- ・職員の表情や挨拶がさわやかな方が多く、声もかけやすいように感じました。
- ・明るい雰囲気を中心掛けている感じがしました。
- ・いつも丁寧に対応して下さっています。専門職の目線からの助言、助かっています。
- ・職員にナースコールで知らせた時、対応がすぐにできないことがある。
- ・今日の自己紹介をする前に山添先生からリハーサルをやっていただいて緊張がほぐれて先生方の話がよきこええました。人の話しをきいている時に途中で話し声がきこえなくなる時がありますが今日はなかったです。ありがとうございます。

5. 当センターの運営に関して、気付いたことがありましたらご記入ください

- ・苦情やパワハラなどの対応にご苦労されていることも知ることができました。
- ・センター長の「入り口を大事にしている」という方針が感銘を受けました。多くの方に伝われば良いと思う。
- ・施設入所になるが、あえてバリアを残すなど地域移行というところに目標を置いている対策が多くあり、よいと思った。
- ・各部署の方が他の部署のことをよく理解されているように感じました。日々の情報の共有を心掛けて運営されているように思いますし、また色々難しいことがあってもどう考えるのかということ共有することについて試行錯誤されているのだろうと思います。センター長や副センター長の熱意ある雰囲気が全体に伝わっているのかなと思います。
- ・特になし
- ・この施設も介護が軽い人、重い人と区別して入所するようになってくるのではないかと思います。
- ・今日みたいな会議があつて参加させて下さってありがとうございます。私の言ったことがみなさんに役に立ってくれたらうれしいと思います。

6. 今回の会議に参加されて、感じたことやご意見などご記入ください

- ・参加できて良かった。詳しい施設内容がわかりました。
- ・今回のような交流会や勉強会を増やして頂きたい。
- ・事業所の様子を感じることができてよかった。虐待・苦情など赤裸々な意見交換ができたと思う。
- ・ハビリテーリングセンターの事業内容を詳しく知る事ができ、ありがとうございました。
- ・会議室が大きくなかったことがとても良いと思います。交流を喚起する会議になっていたと思います。
- ・様々な関りの方々と一緒にお話ができ、改めてハビリさんの良さを実感しています。これからも春野から一緒に活動や勉強をさせていただきながら、生徒もお世話になりたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。
- ・施設から交通費を支給されたり送迎車が利用できるようにしてほしい。施設内に売店を設置してもらえると嬉しいです。
- ・副センター長さんからも言われましたが、地域の人とあいさつでつながれば高知ハビリテーションの人がもっといい人になると思いました。